

平成30年度 大気の現況

— 一酸化炭素 —

石油や石炭など炭素を含む物質が燃焼したとき、酸素の供給が十分で完全燃焼すると「二酸化炭素」が発生しますが、酸素の供給が不十分で不完全燃焼をしたときは一酸化炭素が発生します。大気中の一酸化炭素の人工的な発生源の大部分は、自動車の排気ガスです。

人体への健康影響として、血液中のヘモグロビンと結合して、酸素を運搬する機能を阻害します。

本市では駅前交差点測定局で常時監視しており、環境基準を達成しています。

環境基準

1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、
1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

環境基準達成状況（平成30年度）

測定局	種別	用途地域	長期的評価	8時間値 基準超過回数	日平均値の 年間2%除外値
駅前交差点	自動車排出ガス	商業	○	0	0.4ppm

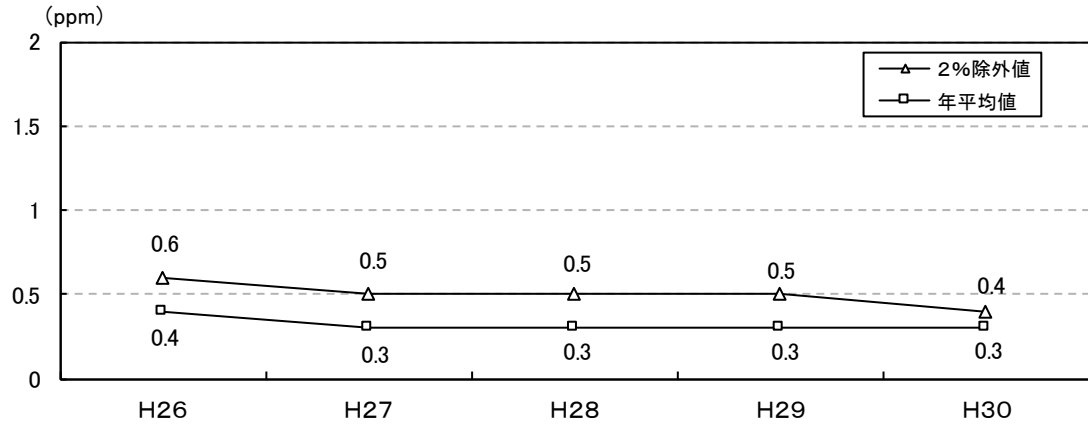
○：環境基準達成 ×：環境基準非達成

一酸化炭素の年間値測定結果（平成30年度）

測定局	用途地域	有効測定日数		年平均値 ppm	8時間値が 20ppmを 超えた回数 とその割合		日平均値が 10ppmを 超えた日数 とその割合		1時間値が 30ppm以上 となったこと がある日数 とその割合		1時間値 の最高値 ppm	日平均値 の最高値 ppm	日平均値 の年間2 %除外値 ppm	日平均値が 10ppmを超 えた日が2 日以上連続 したことの 有 無	環境基準の 長期的評価 による日平 均値10ppmを 超えた日数 日
		日	時間		回	%	日	%	日	%					
駅前交差点	商業	356	8,508	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.2	0.4	0.4	○	0

※ 一酸化炭素は環境基準を達成しています。

一酸化炭素の経年変化



一酸化炭素の経月変化（平成30年度）

